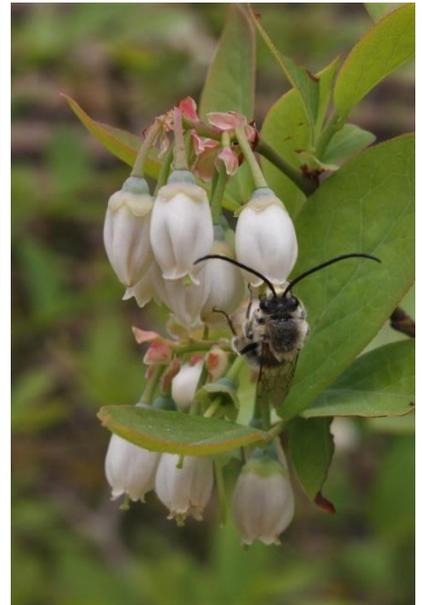


名前 ブルーベリー 場所 ミュージアムショップ



ミュージアムショップの前庭でブルーベリーの花が満開です。小さな釣鐘型の花が下向きにギッシリぶらさがっています。花が終わると雌しべの付け根にある子房が上を向いて実が膨らんできます。

ところで、ブルーベリーが実を付けるには品種の違う木の花粉が必要だということです。右の写真はすぐ隣に植えられてある木ですが、ガクや子房の色が上の写真とは異なり、異なる品種と思われます。撮影時にはちょうど蜂が蜜を吸いに来ていましたがこの花粉が受粉に役立つと良いですね。



名前 タイム(クリーピングタイム) 場所 ミュージアムショップ

ブルーベリーのすぐ下の花壇にはタイムが植えられています。タイムはハーブとして広く使われていますが、この花はヨーロッパでは蜜源としても重要な植物だということです。

こちらでも中央の花に蜜蜂がやってきて忙しそうに蜜を集めていました。



名前 ヤマブキ(山吹) 場所 土・どろんこ館



土・どろんこ館の軒下ではヤマブキが花を付けています。右写真が一重咲き種、左写真が八重咲き種です。ヤマブキは万葉集にも多くの歌が詠まれており、古くから愛されてきた植物のようです。花色のやや橙色味を帯びた黄色が美しく、山吹色という色名がわざわざ付けられていることから人々がこの花を特別な色として愛してきたことが伺われます。

名前 シラン(紫蘭) 場所 建築陶器のはじまり館、第二駐車場



紫蘭は日本や中国を原産とする蘭の一種です。

6枚の花びらのうち1枚が唇弁と呼ばれ、美しい細かなヒダを持っています。虫が蜜源まで登りやすい形になっているのだそうです。